大相撲一月場所

蔵前国技館

キッコーマン醤油株式会社
ボクひさびさに、感動。
KIKKOMAN
ウスターソース
500ml
若三杉寿人
香りまでおいしい
スパイシーブレンド!!
新顔で新登場。
●500mlマンパック ●300mlマンパック
KIKKOMAN ウスターソース 300ml
KIKKOMAN ウスターソース 500ml
KIKKOMAN 中濃ソース 300ml
KIKKOMAN 中濃ソース 500ml
KIKKOMAN とんかつソース 300ml
KIKKOMAN とんかつソース 500ml
●味で勝負!!スパイシーブレンド
ソースの生命はブレンドの良さ。そこから、食欲をそそる香りと風味が生まれてきます。キッコーマンソースは厳選された野菜をベースに、世界の香辛料をきかせたスパイシーブレンド!!永年の伝統と最新の技術から誕生したソースの傑作です。〈ウスター〉〈中濃〉〈とんかつ〉とも、味で勝負します。
世界の香辛料をきかせたスパイシーな味
KIKKOMAN
ソース
ウスター・中濃・とんかつ

一月初場所 展望

天下泰平
正月の華やいだ雰囲気が
大相撲初場所をいやが上にも
盛りあげる。

強烈なビン付け油の匂い
威風堂々の羽織姿の場所入り
“お江戸の正月〟は
大相撲に残っている。

『小説国技館』
“土俵のうつくしさ、逞しさが、
無限の人生へのひろがりとなって
あらわれてくる……〟

土俵は人生そのもの、
と書いたのは尾崎士郎

15尺の土俵には
宝物が埋まっている
富も、そして名声も——。

勝ち負けの結果ではなく
その課程を見て欲しい、と
砂をつけ、けいこに命を賭ける
力士たち。

白と黒。明暗二筋のその影に
“人生のドラマ〟がある。

負る人　勝つ人　ともに
　　すもうかな　　　支考

昭和52年11月場所 **優勝力士の横顔**

理事長ごあいさつ

明けましておめでとうございます。
旧年中は皆様から格別の御支援、御厚情をいただきまして、まことにありがたく、心から御礼申し上げます。
本年は、さらに土俵内容の充実につとめ、相撲道発展のため、鋭意努力する決意でございます。
今場所は横綱・大関以下、充実した上位陣と新進気鋭の力士が、火花の散る優勝争いを展開し、相撲ファンの皆様のご期待に添うような熱戦をお楽しみいただけるものと存じます。
なにとぞ一層の御指導御鞭韃をお願い申し上げます。
昭和53年1月

財団法人 日本相撲協会 理事長 **春日野清隆**

YOKOZUNA

横綱

“アニマル„——。まさしく動物的な勘の冴えだ。考えるより先に体が動くのだから、やはり輪島は相撲の天才。黄金の左腕、はまだ健在だ。

輪島

WAJIMA HIROSHI 輪島大士
（わじまひろし）本名・輪島博
〔花籠部屋〕石川県七尾市 30才
身長184cm 体重126kg 左四つ・寄り切り
498勝167敗
初土俵／45年 1 月
新入幕／46年 1 月
優勝／12回 殊勲賞／ 3 回
敢闘賞／ 2 回

北の湖

KITANOUMI TOSHIMITSU

北の海敏満

(きたのうみとしみつ) 本名・小畑敏満

〔三保ケ関部屋〕北海道有珠郡壮瞥町 24才 身長180㎝ 体重160㎏

左四つ・寄り切り

527勝248敗

初土俵／42年 1 月

新入幕／47年 1 月

優勝／9 回 殊勲賞／2 回

敢闘賞／1 回

勝ったあと、どうだ！ といわんばかりに胸を張るのは、闘志があふれている証拠だ。笑顔がとても可愛い、のファンの声。素直な性格で皆から好かれる"怪童"だ。

OZEKI

大関

貴乃花

若三杉

TAKANOHANA KENSHI
貴乃花健士（たかのはなけんし）
本名・花田満　二子山部屋　青森県弘前市
身長183㎝　体重103㎏　27才
左四つ・吊り・寄り　576勝373敗
初土俵／40年 5 月　新入幕／43年11月　優勝／ 2 回
殊勲賞／ 3 回　敢闘賞／ 2 回　技能賞／ 4 回

実兄は人ぞ知る“土俵の鬼„花乃花の二子山親方。その血筋のよさから、大相撲の“プリンス„といわれている。史上初の兄弟横綱実現は――。

WAKAMISUGI TOSHIHITO
若三杉寿人（わかみすぎとしひと）
本名・下山勝則　二子山部屋　青森県南津軽郡大鰐町
身長187㎝　体重125㎏　24才　左四つ・上手投　356勝232敗
初土俵／43年 7 月　新入幕／48年11月　殊勲賞／ 2 回
技能賞／ 4 回　優勝／ 1 回

兄弟子貴乃花が大相撲のプリンスなら、弟弟子若三杉は“土俵の若大将„だ。昭和53年は若三杉にとって飛躍の年。もちろん若大将の狙いは横綱だ。

ASAHIKUNI MASUO
旭国斗雄（あさひくにますお）
本名・太田武雄　立浪部屋　北海道上川郡愛別町
身長174㎝ 体重119㎏ 30才 左四つ・下手投 554勝408敗
初土俵／38年7月　新入幕／44年7月
技能賞／6回　敢闘賞／1回

いまは堂々の大関相撲だが、平幕時代はしぶとさだけが目立った。食い下がったら最後、テコでも動かないところから『あいつは“ピラニア”だ』と元竜虎が命名。

MIENOUMI TSUYOSHI
三重ノ海剛司（みえのうみつよし）
本名・石山五郎　出羽海部屋　三重県松阪市
身長181㎝　体重130㎏　29才
左四つ・寄り切り　534勝458敗
初土俵／38年7月　新入幕／44年9月　優勝／1回
殊勲賞／5回　敢闘賞／1回　技能賞／3回

本名の五郎から“ゴローちゃん”。もちろんそう呼ぶのは親方衆や親友の旭国までで、鷲羽山以下の弟デシは、ちゃんと“大関”と番付の地位で声を掛ける。

SEKIWAKE

関脇

KOTOKAZE GOKI 琴風豪規（ことかぜごうき）
本名・中山浩一　佐渡ケ嶽部屋　三重県津市
身長 183cm　体重 142kg　20才　左四つ・寄り　187勝143敗
初土俵／46年7月　新入幕／52年1月　殊勲賞／1回

童顔で、土俵を離れるといつもニコニコ笑顔の好青年。佐渡ケ嶽部屋の将来を背負って立つ逸材は“ガバ„のあだ名。寄り進み　方が“ガバ、ガバ„なのだそうだ。

ARASE NAGAHIDE 荒勢永英（あらせながひで）
本名・荒瀬英生　花籠部屋　高知県吾川郡伊野町
身長 176cm　体重 151kg　28才　右四つ・押出し　274勝226敗
初土俵／47年1月　新入幕／48年7月
殊勲賞／1回　敢闘賞／2回　技能賞／1回

土佐のいごっそう・荒勢。郷土のファンにとってはたまらない怒とうの寄り身だ。男っぽさが売り物のお相撲さん。“野武士„がキャッチフレーズだ。

KOMUSUBI
小結

TAMANOFUJI SIGERU **玉ノ富士茂**（たまのふじしげる）
本名・阿久津茂　片男波部屋　栃木県那須郡小川町
身長 185㎝　体重 127㎏　28才　右四つ・寄り・突出し　269勝230敗
初土俵／45年9月　新入幕／49年9月

“兵隊さん„といわれる。一度、廃業しての再入門だが、その間二年間、自衛隊に入隊し北海道の原野で特訓に明け暮れた。筋金入りだけに、今後が期待される。

OSHIO　KENJI **大潮憲司**（おおしおけんじ）
本名・波多野兼二　時津風部屋　福岡県北九州市
身長 185㎝　体重 127㎏　30才　左四つ・寄切り　550勝487敗
初土俵／37年1月　新入幕／46年9月　技能賞／1回

かって“エレベーター・ボーイ„などというありがたくないニックネームをマスコミからつけられたが、いまは幕内上位に定着し三役も。“坊さん„は熱心な創価学会信者。

MAEGASIRA
前頭

富士櫻
FUJIZAKURA

富士桜栄守
（ふじざくらよしもり）

東前頭 1

本名・中沢栄男　高砂部屋　山梨県甲府市
身長178㎝　体重135㎏　29才
突き・押し　512勝488敗
初土俵／38年3月　新入幕／46年9月
敢闘賞／1回　技能賞／2回

回転の早い、そして後退を知らない突っ張り。全盛時代の世界チャンピオン、ファイティング原田を思わせるさわやかさ。〝突貫小僧〟はきょうも全力を相手にぶつける。

金城
KANESHIRO

金城興福
（かねしろこうふく）

東前頭 2

本名・金城興福　春日野部屋　宮崎県児湯郡
身長183㎝　体重133㎏　24才
左四つ・寄り切り　306勝262敗
初土俵／44年9月　新入幕／49年9月
敢闘賞／1回

実父は宮崎県でレストランなどを数軒もっている実業家。裕福な家庭で育って、ちょっぴりボンボン気質だが、シンはしっかりしている。本名の金城興福から〝コー〟。

魁傑
KAIKETSU

魁傑将晃
（かいけつまさてる）

西前頭 1

本名・西森輝門　花籠部屋　山口県岩国市
身長187㎝　体重126㎏　29才
左四つ・寄り切り　483勝354敗
初土俵／41年9月　新入幕／46年9月　優勝2回
殊勲賞／2回　敢闘賞／7回　技能賞／1回

〝黒いダイヤモンド〟といわれたり〝怪傑黒頭巾〟と呼ばれたり……。未完の大器、と期待されたが、故障がちでちょっぴりファンをかなしませている。

栃赤城
TOCHIAKAGI

栃赤城雅男
（とちあかぎまさお）

西前頭 2

本名・金谷雅男　春日野部屋　群馬県沼田市
身長181㎝　体重131㎏　23才
右四つ・寄り　155勝107敗
初土俵／48年1月　新入幕／52年5月
敢闘賞／1回

歌謡曲や浪曲が好きというお相撲さんは多いが、栃赤城は『なんといってもクラシック音楽を聞いているときが一番気がやすまる』とか。部屋の兄デシは〝小染〟と呼ぶ。

双津竜

FUTATSURYU

双津竜順一（ふたつりゅうじゅんいち）

東前頭 3

本名・山本順一　時津風部屋　北海道室蘭市
身長185cm　体重166kg　27才
右四つ・寄り切り　503勝455敗
初土俵／38年9月　新入幕／47年3月

すきとおるような白いハダ。そして大きな体。北海道は室蘭市の出身で、人呼んで〝北海の白熊〟。しかし、この白熊ちゃん、すこしおとなしすぎるきらいがないでもない。

隆ノ里

TAKANOSATO

隆ノ里俊英（たかのさととしひで）

東前頭 4

本名・高谷俊英　二子山部屋　青森県南津軽郡浪岡町　身長180cm　体重124kg　25才
左四つ・吊り　288勝251敗
初土俵／43年7月　新入幕／50年5月

フォークソングが大好きで、弾き語りをする。なまくら四つで、相手を引っ張り込んでの大技が得意。けいこ場だと無類の強さをみせることから〝けいこ場大関〟。

蔵間

KURAMA

蔵間龍也（くらまたつや）

西前頭 3

本名・蔵間龍也　時津風部屋　滋賀県野州郡野洲町
身長188cm　体重126kg　25才
左四つ・吊り・寄り　278勝235敗
初土俵／43年9月　新入幕／51年7月

女性ファンに人気があり、『若三杉よりいい男』とうっとりする女性もいる。色男だが、力もある蔵間。時津風部屋のホープは〝天狗〟、シコ名を続けると〝蔵間天狗〟。

播竜山

BANRYUYAMA

播竜山孝晴（ばんりゅうやまたかはる）

西前頭 4

本名・田口孝晴　三保ケ関部屋　兵庫県竜野市
身長177cm　体重145kg　26才
突き・押し　332勝291敗
初土俵／41年11月　新入幕／50年3月

まん丸い体。色が黒く、部屋の兄弟子がつけたニックネームは〝ゴリ〟。ゴリラの〝ゴリ〟である。突き、押しに徹して三役の厚い壁に挑戦だ。

豊山

YUTAKAYAMA

豊山広光（ゆたかやまひろみつ）

東前頭 5

本名・長浜広光　時津風部屋　新潟県新発田市
身長187㎝　体重130㎏　30才
左四つ・突出し　349勝332敗
初土俵／45年3月　新入幕／46年11月
敢闘賞／2回

静かな山を一人で歩き、小鳥の鳴き声を聞くのが大好き、という。騒ぐのが嫌いで孤独を愛する男である。ニックネームは特にないが、しいて挙げれば〝一直線の男〟。

高見山

TAKAMIYAMA

高見山大五郎（たかみやまだいごろう）

東前頭 6

本名・ジェシー・クハウルア　高砂部屋　米国ハワイマウイ島
身長192㎝　体重182㎏　33才
右四つ・突張り　562勝532敗
初土俵／39年3月　新入幕／43年1月　優勝／1回
殊勲賞／6回　敢闘賞／3回

〝ジェシー〟。もう説明の必要もないだろう。『タカミヤマー』の掛け声と同時に、碧い眼ファンの『ジエシー　ゴー　ゴー』。人気横綱の〝ジェシー〟高見山だ。

魁輝

KAIKI

魁輝薫秀（かいきのぶひで）

西前頭 5

本名・西野政章　友綱部屋　青森県上北郡天間林村
身長183㎝　体重138㎏　25才
右四つ・寄り・突張り　372勝342敗
初土俵／40年9月　新入幕／50年11月

場所後に、師匠令嬢との結婚式を控えているとあっては張り切らざるを得ない。『初場所は絶対に勝ち越す』と珍らしく表に闘志を現わしている。〝ニシ〟は本名西野から。

黒姫山

KUROHIMEYAMA

黒姫山秀男（くろひめやまひでお）

西前頭 6

本名・田中秀男　立浪部屋　新潟県西頸城郡青海町
身長183㎝　体重144㎏　29才
押出し　515勝481敗
初土俵／39年3月　新入幕／44年7月
殊勲賞／2回　敢闘賞／2回　技能賞／1回

大きなおでこでぶちかましが十八番。そのあと馬力を効かしての出足。そんなイメージが機関車の『D51号』にそっくりで、ついたニックネームが〝デゴイチ〟。

舛田山
MASUDAYAMA

舛田山靖仁
（ますだやまやすひと）

東前頭7

本名・舛田茂　春日野部屋　石川県七尾市
身長188㎝　体重144㎏　26才
右四つ・突き・押し　147勝120敗
初土俵／49年3月　新入幕／51年11月

昨年の名古屋場所でベテランの羽黒岩を立ち合いのぶちかましでダウンさせた。その威力はすさまじく〃恐怖のマッシー〃といわれるようになった。

麒麟児
KIRINJI

麒麟児和春
（きりんじかずはる）

東前頭8

本名・垂沢和春　二所ノ関部屋　千葉県柏市
身長182㎝　体重139㎏　24才
突き・押し　332勝290敗
初土俵／42年5月　新入幕／49年9月
敢闘賞／2回　技能賞／2回　殊勲賞／3回

赤いほっぺたをプーッとふくらませて猛然と突っ張る麒麟児。仕切りのときもあふれる闘志をかくしきれず〃金時（きんとき）〃クンは相変らず元気いっぱい。

青葉山
AOBAYAMA

青葉山弘年
（あおばやまひろとし）

西前頭7

本名・高橋幸一　木瀬部屋　宮城県黒川郡大郷町
身長188㎝　体重120㎏　27才
左四つ・吊出し　303勝252敗
初土俵／43年11月　新入幕／50年11月
敢闘賞／1回

誰れがつけたか〃鉄仮面〃。ハンサム路線の最近の大相撲界で、伝統の男くささで目下人気上昇中。相撲は顔じゃなくて心で取るもの、とマイペースの吊り相撲。

鷲羽山
WASYUYAMA

鷲羽山佳和
（わしゅうやまよしかず）

西前頭8

本名・鈴木佳員　出羽海部屋　岡山県倉敷市
身長173㎝　体重107㎏　28才
突張り　363勝311敗
初土俵／42年3月　新入幕／48年5月
敢闘賞／3回　技能賞／5回

外人の相撲ファンが増えている。ウエート制のないのが最大の魅力とか。大男を敵にしての精いっぱいのファイト。〃チビッコギャング〃はまさにぴったり。

青葉城

AOBAJO

青葉城幸雄
（あおばじょうゆきお）

東前頭 9

本名・庄司幸雄　押尾川部屋　宮城県仙台市
身長180㎝　体重145㎏　29才
左四つ・寄り切り・吊出し　437勝417敗
初土俵／39年3月　新入幕／50年1月
敢闘賞／1回
　鍾馗様のようなもみあげ。胸毛は立派。男性的な魅力をふりまいて、古武士を思わせる。左、がっぷり四つになると底力を発揮する。〃おとおちゃん〃がニックネーム。

玉輝山

TAMAKIYAMA

玉輝山正則
（たまきやままさのり）

東前頭10

本名・萩尾正則　片男波部屋　福岡県糸島郡前原町
身長182㎝　体重135㎏　26才
右四つ・寄り切り　419勝394敗
初土俵／39年5月　新入幕／49年5月
　玉輝山のまわりはいつも笑いの渦がまき起こっている。朗らかな性格で『インタビューが楽しい』と新人記者。電話の前に座ったら一時間も二時間も動かず〃電話魔〃の異名。

増位山

MASUIYAMA

増位山太志郎
（ますいやまだいしろう）

西前頭 9

本名・沢田昇　三保ケ関部屋　兵庫県姫路市
身長182㎝　体重109㎏　29才
右四つ・上手投げ　447勝405敗
初土俵／42年1月　新入幕／45年3月
技能賞／2回
　歌よし、絵心あり、話術も巧み。これであと『相撲の強さが本物になれば…』の声あり。柔軟で、粘りのある足腰の二世力士。〃タレントさん〃は土俵外での人気も抜群。

若獅子

WAKAJISHI

若獅子茂憲
（わかじししげのり）

西前頭10

本名・和田耕三郎　二子山部屋　青森県上北郡上北町
身長173㎝　体重125㎏　29才
右四つ・寄り切り・押出　454勝432敗
初土俵／39年5月　新入幕／48年1月
敢闘賞／1回
　あるかないか（失礼）の細い目をしているところから〃座頭市〃といわれるようになった。けいこ熱心で『ウチの〃市ちゃん〃はよくやる』と師匠の二子山親方。

千代の富士
CHIYONOFUJI

千代の富士貢
（ちよのふじみつぐ）

東前頭12

本名・秋元貢　九重部屋　北海道松前郡福島町
身長182㎝　体重91㎏　22才
右四つ・吊り・上手投　234勝190敗
初土俵／45年9月　新入幕／50年9月

〝ウルフ〟のニックネームがあり、気の強さは抜群。仕切りのとき、相手をにらみつける視線の鋭さはなかなかのものだ。十三場所ぶりの再入幕。陸上選手として活躍したが同郷前九重親方の強引なスカウトに……。

出羽の花
DEWANOHANA

出羽の花義貴
（でわのはなよしたか）

東前頭11

本名・野村双一　出羽海部屋　青森県北津軽郡中里町
身長185㎝　体重111㎏　26才
右四つ・寄り・上手投　138勝111敗
初土俵／49年3月　新入幕／52年11月

日大―花籠ラインとは一人別行動で日大―出羽海は伯父さんが元幕内の先代出羽の花だったからだ。本名の野村から〝ノム〟と呼ばれている。

千代櫻
CHIYOZAKURA

千代櫻輝夫
（ちよざくらてるお）

西前頭12

本名・斉藤輝夫　九重部屋　北海道瀬棚郡今金町
身長182㎝　体重110㎏　27才
左四つ・突出し　377勝345敗
初土俵／41年3月　新入幕／51年9月

横綱北の富士（現九重親方）の付人を長くつとめていた。その北の富士に〝テル〟〝テル〟と可愛がられていた。本名『斉藤輝夫』が由来で、いまでも兄デシは〝テル〟。

北瀬海
KITASEUMI

北瀬海弘光
（きたせうみひろみつ）

西前頭11

本名・土谷孝　九重部屋　北海道瀬棚郡
身長175㎝　体重113㎏　29才
左四つ・寄り切り　473勝457敗
初土俵／39年7月　新入幕／47年3月
殊勲賞／2回　技能賞／1回

低い立ち合いから素早く両差ししての速攻の寄り―。頭髪少いはダテではなくきびしいけいこの証拠。ニックネーム〝穴熊〟は前師匠令嬢の命名。

東十両1

岩下

IWASHITA

【立浪部屋】千葉県木更津市

（本名・[illegible]）

身長 181cm 体重 140kg 22才

押し

初土俵／46年11月 [illegible]／51年9月

166勝127敗

西十両1

琴乃富士

KOTONOFUJI

【佐渡ヶ嶽部屋】[illegible]

（本名・[illegible]）

身長 183cm 体重 140kg [illegible]

左四つ・寄り切り

初土俵／[illegible] 新十両／[illegible]

[illegible]

十両

ZAONISHIKI

蔵玉錦

蔵玉錦敏正（さおうにしきとしまさ）

東前頭13

本名・安達敏正 鏡山部屋 山形県山形市
身長183cm 体重133kg 25才
左四つ・寄り切り 230勝191敗
初土俵／45年9月 新入幕／51年11月

五場所ぶりの再入幕。体格はすでに三役クラスだが、まだ地力が伴わない。鬼といわれる鏡山親方(元横綱柏戸)のしごきに耐えている。本名から〃ダチ〃と同僚にいわれる。

ONISHIKI

大錦

大錦一徹（おおにしきいってつ）

西前頭13

本名・尾堀盛夫 出羽海部屋 新潟県佐渡郡羽茂町
身長184cm 体重146kg 24才
左四つ・寄り切り 319勝290敗
初土俵／43年5月 新入幕／48年9月
殊勲賞／1回 敢闘賞／1回 技能賞／1回

〃佐渡の怪童〃もここ一、二年は鳴かず飛ばずだった。しかし、まだ老け込む年ではない。騒がれた二十八年組の一人として、ことしは〃帰ってきた怪童〃を期待したい。

東十両 4

琴ヶ嶽

KOTOGATAKE

【佐渡ヶ嶽部屋】[illegible]
([illegible])
身長 18[illegible]cm 体重 108kg 25才
[illegible]
初土俵／42年11月 新十両／49年1月
[illegible]勝251敗

東十両 3

三杉磯

MISUGIISO

【花籠部屋】[illegible]
([illegible])
身長 188cm 体重 114kg 21才
左四つ・寄り
初土俵／46年3月 新十両／51年11月
176勝146敗

東十両 2

尾形

OGATA

【時津風部屋】[illegible]
([illegible])
身長 190cm 体重 160kg 24才
突き・押し
初土俵／51年3月 新十両／52年9月
60勝33敗

西十両 4

翠竜

SUIRYU

【立浪部屋】千葉県千葉市
(本名・[illegible])
身長 177cm 体重 109kg 24才
左四つ・[illegible]
初土俵／43年7月 新十両／52年7月
220勝179敗

西十両 3

大登

ONOBORI

【大山部屋】愛知県名古屋市
(本名・小椋進)
身長 182cm 体重 125kg 25才
左四つ・寄り・上手投
初土俵／43年3月 新十両／49年7月
270勝247敗

西十両 2

小沼

KONUMA

【鏡山部屋】埼玉県春日部市
(本名・小沼克行)
身長 181cm 体重 130kg 22才
左四つ・寄り
初土俵／46年7月 新十両／50年7月
180勝119敗

東十両 7

春日洋

KASUGANADA

【春日野部屋】 [illegible]
(本名・[illegible])
身長 18[illegible]cm 体重 145kg 27才
[illegible]
初土俵／41年3月 新十両／49年5月
301勝264敗

東十両 6

大竜川

DAIRYUGAWA

【三保ヶ関部屋】 [illegible]
(本名・[illegible])
身長 178cm 体重 113kg 32才
[illegible]
初土俵／36年11月 新十両／41年9月
626勝617敗

東十両 5

大豪

DAIGO

【花籠部屋】 [illegible]
(本名・[illegible])
身長 18[illegible]cm 体重 11[illegible]kg 2[illegible]才
[illegible]
初土俵／[illegible]年5月 新十両／50年3月
314勝284敗

西十両 7

大航

TAIKO

【二子山部屋】 青森県青森市
(本名・横山[illegible]男)
身長 175cm 体重 125kg 24才
左四つ・寄り
初土俵／43年11月 新十両／50年7月
228勝189敗

西十両 6

栃勇

TOCHIISAMI

【春日野部屋】 青森県南津軽郡田舎館村
(本名・[illegible]塚鉄雄)
身長 176cm 体重 115kg 30才
押出し・突出し
初土俵／38年3月 新十両／42年11月
525勝492敗

西十両 5

琴若

KOTOWAKA

【佐渡ヶ嶽部屋】 北海道増毛郡増毛町
(本名・[illegible])
身長 200cm 体重 130kg 23才
右四つ・突張り・寄り
初土俵／46年7月 新十両／52年11月
157勝117敗

東十両10

牛若丸

USHIWAKAMARU
【伊勢ヶ浜部屋】埼玉県草加市
（本名・江口悟）
身長 176cm　体重 126kg　21才
突き・押し
初土俵／45年9月　新十両／52年3月
175勝146敗

東十両9

山　口

YAMAGUCHI
【時津風部屋】大分県下毛郡本耶馬渓町
（本名・山口久）
身長 180cm　体重 117kg　25才
突き・押し
初土俵／46年1月　新十両／52年5月
180勝127敗

東十両8

巖　虎

IWATORA
【春日野部屋】熊本県八代郡千丁村
（本名・松岡一智）
身長 177cm　体重 109kg　29才
突き・押し
初土俵／42年7月　新十両／46年7月
308勝271敗

西十両10

朝　登

ASANOBORI
【朝日山部屋】北海道夕張市
（本名・霜降利照）
身長 175cm　体重 132kg　29才
突出し・押出し
初土俵／38年7月　新十両／42年9月
563勝533敗

西十両9

蜂　矢

HACHIYA
【春日野部屋】岐阜県本巣郡根尻村
（本名・蜂矢敏行）
身長 180cm　体重 100kg　27才
左四つ・つり・寄り
初土俵／43年9月　新十両／51年5月
246勝219敗

西十両8

大　旺

DAIO
【二子山部屋】富山県新湊市
（本名・荒谷邦治）
身長 186cm　体重 96kg　28才
右四つ・吊り・寄り
初土俵／39年11月　新十両／47年5月
417勝394敗

東十両13
琴立山
KOTOTATEYAMA
【佐渡ヶ嶽部屋】富山県[illegible]市
（本名・[illegible]）
身長 187cm 体重 95kg 25才
左四つ・寄り・上手投げ
初土俵／42年9月 新十両／51年11月
232勝203敗

東十両12
黒瀬川
KUROSEGAWA
【伊勢ヶ浜部屋】東京都東村山市
（本名・[illegible]）
身長 184cm 体重 118kg 26才
突き・押し
初土俵／41年1月 新十両／51年5月
290勝258敗

東十両11
大鷲
OWASHI
【若松部屋】[illegible]
（本名・[illegible]）
身長 191cm 体重 109kg 32才
左四つ・上手投げ
初土俵／37年9月 新十両／43年9月
486勝487敗

西十両13
羽黒岩
HAGUROIWA
【立浪部屋】宮崎県延岡市
（本名・戸田智次郎）
身長 180cm 体重 122kg 31才
右四つ・寄り切り・押出し
初土俵／36年5月 新十両／40年11月
625勝617敗 敢闘賞／1回

西十両12
影虎
KAGETORA
【九重部屋】岩手県九戸郡軽米町
（本名・滝沢和彦）
身長 182cm 体重 103kg 23才
左四つ・突き・押し
初土俵／43年11月 新十両／53年1月
210勝168敗

西十両11
琴の郷
KOTONOKUNI
【佐渡ヶ嶽部屋】北海道[illegible]市
（本名・[illegible]）
身長 178cm 体重 115kg 27才
左四つ・寄り
初土俵／41年3月 新十両／48年11月
[illegible]勝233敗

序ノ口取組

どんな名力士、大力士に聞いても「一番うれしかったのは序ノ口の番付に自分の名前が載ったとき」という。その番付に名前を載せるための〝試験〟が前相撲である。

十八歳以下は170㌢の70㌔。十八歳以上は173㌢の75㌔が新弟子検査合格の最低基準だが、新弟子検査合格はいわば仮試験に受かったようなもので、前相撲で勝たなければ本当のお相撲さんとはいえない。それだけに前相撲で勝って、翌場所番付に自分の名前が載ることが最大のうれしさなのだろう。

昔は、東西の二字口でパチパチと拍手を打って、立ち腰のままぶつかり合ったが、相撲を取っていない未経験者もいて、危険だからということで、最近はそん居をして、ちゃんと手をついてから立ち上がるようにしている。

春場所のように新弟子が多いときは、連日一時間以上も前相撲が行われ、それはにぎやかだ。中にはすぐに三段目あたりで通用しそうな強い新弟子もいるが、相手に白星を与えてばかりの、いわゆる〝出ると負け〟もいる。ところが、おもしろいことに五年後、十年後になって番付の一番上にいるのが、そのときの〝出ると負け力士〟だったりするケースが多い。だから幕下、三段目の相撲を余り見ない新聞記者たちも、前相撲は欠かさず観戦する。そして〝掘り出しもの〟を見つけたときの楽しさ、うれしさはまた格別だ。

新弟子の人数が多いときは、番付に名前の載らない者同士で顔合わせをするが、五・六人と極端に少ない場合は、たまに序ノ口力士と対戦させられる。人数の少ないときは出世披露は中日の一回だけだが、春場所のようなときだと中日に一番出世、十日目に二番出世、そして十三日目に三番出世披露が行われ、それぞれ師匠の現役のときの化粧廻しや、兄弟子の化粧廻しをつけて土俵に上がる。異能力士として人気のある増位山は出世披露のとき、師匠で父親（先代増位山、三保ヶ関親方）の現役時代の化粧廻しを着用して話題を呼んだ。

土俵上、出世力士が勢揃いすると若い行司がこんな言上を述べる。

『ここに控えおります力士儀にござります。ただ今までは番付外に取らせおきましたるところ当場所、日々成績優秀につき本日より番付面に差し加えておきまするあいだ、以後相変らずごひいきお引立てのほどひとえに願いあげたてまつります。』

土俵上で披露をされた出世力士は、花道を引き上げると理事長室、役員室などを順ぐりに回って

『〇〇部屋の〇〇です　よろしくおねがいします』

とあいさつをする。化粧廻しをつけてのうれしさ恥ずかしさに上気して名前をトチル新弟子もいるが、これはご愛嬌だ。

序ノ口、序二段、三段目……。一部の大学相撲出身者はすぐに幕下付出で初土俵を踏むが、あとは全部序ノ口からスタートして序二段、三段目、幕下と番付を上げていく。なお、序ノ口の語源は、はじめ上の口といわれた。出世の上り口に位置するところからそう呼ばれたが、いつのころからか、序ノ口の名称になった。

相撲言葉から一般言葉に使われるようになったのは多いが、序ノ口はそのうち最もポピュラーな言葉といえそうだ。

二十七代木村庄之助

大正十四年十二月三日、岩手県盛岡市茶畑に生れる。本名熊谷宗吉。

昭和十一年一月立浪部屋入門木村宗吉と名のり初土俵をふむ。二十二年十一月幕下格のとき木村玉治郎と改名、二十五年九月十枚目格、三十一年五月幕内格、四十一年十一月三役格に昇進。四十九年一月場所より二十三代式守伊之助を襲名する。その後四年、二十三場所立行司の重責をつとめ、五十二年十一月場所より二十七代木村庄之助を襲名す。

二十四代式守伊之助

大正八年四月十五日、香川県大川郡志度町に生れる。本名尾崎信雄。

昭和十年一月朝日山部屋入門木村正義の名にて初土俵をふむ。二十二年六月十枚目。二十五年九月木村正信と改名、二十九年九月幕内格、三十六年十一月三役格に昇進し、翌三十七年一月より木村正直を襲名、五十二年十一月場所より二十四代式守伊之助を襲名す。

昭和52年度年間幕内在位勝星順位表

順位	力士名	1月場所 勝－敗	3月場所 勝－敗	5月場所 勝－敗	7月場所 勝－敗	9月場所 勝－敗	11月場所 勝－敗	合計 勝－敗	備考
1	北の湖	12－3	優勝 15－0	12－3	13－2	優勝 15－0	13－2	80－10	優勝2回
2	輪島	優勝 13－2	12－3	11－4	優勝 15－0	10－5	優勝 14－1	75－15	優勝3回
3	若三杉	殊勲賞 11－4	9－6	優勝 13－2	10－5	10－5	10－5	63－27	優勝1回 殊勲賞1回
	貴乃花	12－3	13－2	10－5	8－7	10－5	10－5	63－27	
5	荒勢	9－6	7－8	8－7	8－7	技能賞 11－4	8－7	51－39	技能賞1回
6	旭国	休 0-3-12	9－6	9－6	9－6	14－1	8－7	休 49-29-12	
7	琴風	8－7	9－6	5－10	8－7	8－7	殊勲賞 10－5	48－42	殊勲賞1回
8	三重ノ海	8－7	8－7	5－10	8－7	7－8	9－6	45－45	
	大潮	6－9	7－8	9－6	8－7	6－9	技能賞 9－6	45－45	技能賞1回
10	魁傑	敢闘賞 11－4	8－7	8－7	6－9	5－10	6－9	44－46	敢闘賞1回
	金城	5－10	敢闘賞 11－4	8－7	5－10	6－9	9－6	44－46	敢闘賞1回
12	玉ノ富士	6－9	5－10	11－4	8－7	5－10	8－7	43－47	
	播竜山	8－7	5－10	8－7	5－10	9－6	8－7	43－47	
	舛田山	8－7	5－10	6－9	8－7	8－7	8－7	43－47	
	富士桜	5－10	8－7	9－6	5－10	7－8	9－6	43－47	
	隆ノ里	8－7	4－11	7－8	8－7	5－10	敢闘賞 11－4	43－47	敢闘賞1回
17	若獅子	10－5	6－9	7－8	8－7	4－11	7－8	42－48	
	青葉城	6－9	9－6	7－8	6－9	7－8	7－8	42－48	
	魁輝	5－10	10－5	5－10	9－6	3－12	10－5	42－48	
20	高見山	5－10	6－9	9－6	9－6	殊勲賞 9－6	3－12	41－49	殊勲賞1回
	豊山	4－11	9－6	8－7	6－9	敢闘賞 10－5	4－11	41－49	敢闘賞1回
	黒姫山	8－7	8－7	殊勲賞 8－7	3－12	9－6	5－10	41－49	殊勲賞1回
	北瀬海	10－5	技能賞 9－6	休 3-6-6	5－10	8－7	6－9	休 41-43-6	技能賞1回

昭和52年度優勝力士

	幕内	十枚目	幕下	三段目	序二段	序ノ口
1月場所	西横綱 輪島 (花籠) 13勝2敗 10回目	西1 琴ケ嶽 (佐渡ケ嶽) 10勝5敗	西20 牛若丸 (伊勢ケ浜) 7戦全勝	西26 大光 (花籠) 7戦全勝	東76 三留 (鏡山) 7戦全勝	東13 三重桜 (出羽海) 7戦全勝
3月場所	西横綱 北の湖 (三保ケ関) 15戦全勝 8回目	東3 琴乃富士 (佐渡ケ嶽) 14勝1敗	西3 山口 (時津風) 7戦全勝	西49 島田山 (宮城野) 7戦全勝	西60 京竜 (春日野) 7戦全勝	東4 軍川 (宮城野) 6勝1敗
5月場所	西大関 若三杉 (二子山) 13勝2敗	東13 出羽の花 (出羽海) 11勝4敗	西12 影虎 (九重) 6勝1敗	西10 照輝山 (伊勢ケ浜) 7戦全勝	西2 大豊 (時津風) 7戦全勝	東21 大嵐 (若松) 7戦全勝
7月場所	西横綱 輪島 (花籠) 15戦全勝 11回目	東2 大錦 (出羽海) 11勝4敗2回目	西3 尾形 (時津風) 7戦全勝2回目	東3 前田花 (高田川) 7戦全勝	西47 玄海鵬 (花籠) 7戦全勝	東11 糸満 (大鵬) 6勝1敗
9月場所	西横綱 北の湖 (三保ケ関) 15戦全勝 9回目	東2 千代桜 (九重) 11勝4敗2回目	東5 琴若 (佐渡ケ嶽) 7戦全勝	西29 大光 (花籠) 7戦全勝2回目	東10 鈴鹿 (出羽海) 7戦全勝	西16 琴隼人 (佐渡ケ嶽) 7戦全勝
11月場所	西横綱 輪島 (花籠) 14勝1敗 12回目	東2 玉輝山 (片男波) 11勝4敗2回目	東15 琴の郷 7戦全勝	西35 清ノ海 (伊勢ケ浜) 7戦全勝	東18 豊前王 (三保ケ関) 7戦全勝	東16 寺田山 (春日野) 6勝1敗

昭和52年度三賞力士

	殊勲賞	敢闘賞	技能賞
1月場所	関脇 若三杉	関脇 魁傑	該当力士なし
3月場所	該当力士なし	前7 金城	前1 北瀬海
5月場所	関脇 黒姫山	前12 栃赤城	前4 鷲羽山
7月場所	該当力士なし	該当力士なし	前1 鷲羽山
9月場所	小結 高見山	前6 豊山	関脇 荒勢
11月場所	前1 琴風	前11 隆ノ里	前3 大潮

昭和53年本場所日程表

本場所	開催地	番付発表	初日	千秋楽
1月場所	東京	52年 12月26日	1月8日	1月22日
3月場所	大阪	2月27日	3月12日	3月26日
5月場所	東京	4月24日	5月7日	5月21日
7月場所	名古屋	6月19日	7月2日	7月16日
9月場所	東京	8月28日	9月10日	9月24日
11月場所	福岡	10月30日	11月12日	11月26日

●化粧廻しの起り●

〝相撲とり並ぶや秋の唐錦〟

この句は江戸時代の俳人服部嵐雪のよんだもので、いろとりどりの廻しをつけての、華やかな土俵入りの風景がよくあらわれている。

取組みのあいまの、いっぷくの清涼剤のような、見る目を楽しませてくれる、この土俵入りがいつ頃から始まったのかはわからないが、宝暦に版行された「相撲大全」に、短い化粧廻しで土俵入りをしている図がのっているので、宝暦年間（一七五一〜六三）には、すでに土俵入りが行われていたようである。この句をよんだ嵐雪は宝永四年（一七〇七）に他界しているので、宝暦からすでに四十年以上前の元禄の頃にはもう土俵入りが行われていたものと推定される。

この元禄の頃は取り廻しと、土俵入りの化粧廻しとの区別はなく同一のものであった。はじめの頃は絹、緞子の取り廻しに、切付紋をぬいつけただけの簡単なものであったが、のちに織物や染物に花鳥の模様を金糸銀糸で刺繍するという豪華なものとなり、ことに紀州藩の廻しは華麗だったので「紀州の下帯」といわれ、たいへんな評判となった。このようにだんだんと取り廻しが華美になるにつれて、相撲をとるときにさしさわりが生ずるため、土俵入りだけに用いる化粧廻しができたものと思われる。尚この頃は化粧廻しとは書かず、潔装褌（きれいによそほうふんどし）と書いたといわれている。

土俵入り専門の化粧廻しは宝暦の頃は、膝あたりまでの短いものであったが、その後だんだんと長くなり、安永（一七七二〜八〇）の頃には現在と同じような足首までの長さとなった。

荒見崎荒右エ門の廻し

荒見崎は元文（一七三七）から宝暦頃の力士で、江戸大阪には出ず一生を山形で送った庄内地方の大関である。茶色の緞子に地模様が織出され、先端のたれのところに、錨に綱をあしらった刺繍がある。錨の部分は金糸だったが現在はほとんどすり切れてなくなり縫跡だけがのこっている。

鼠ヶ関岡右エ門の廻し

この鼠ヶ関も同じく山形県出身の庄内地方の力士で、寛保から宝暦（一七四一〜六三）頃に活躍した。朱色の地紋織出の緞子で、先端には二本の細い金糸が入っているだけで、絵模様は刺繍されていない。荒見崎と鼠ヶ関の廻しは、取り廻しと化粧廻しが同一時代のもので、現存せる力士廻しとして最古のものである。

戸田川鷲之助の化粧廻し

明和から安永（一七六五〜七三）にかけて活躍した江戸相撲の力士で、前頭一枚目まですすんだ。この廻しは土俵入りのみに用いた化粧廻しで、退紅色の繻子地に金糸で蝶と牡丹の模様がみごとに刺繍されたまことに美しいもので、現存する化粧廻しとして最古のものである。

錦絵でみる印紋

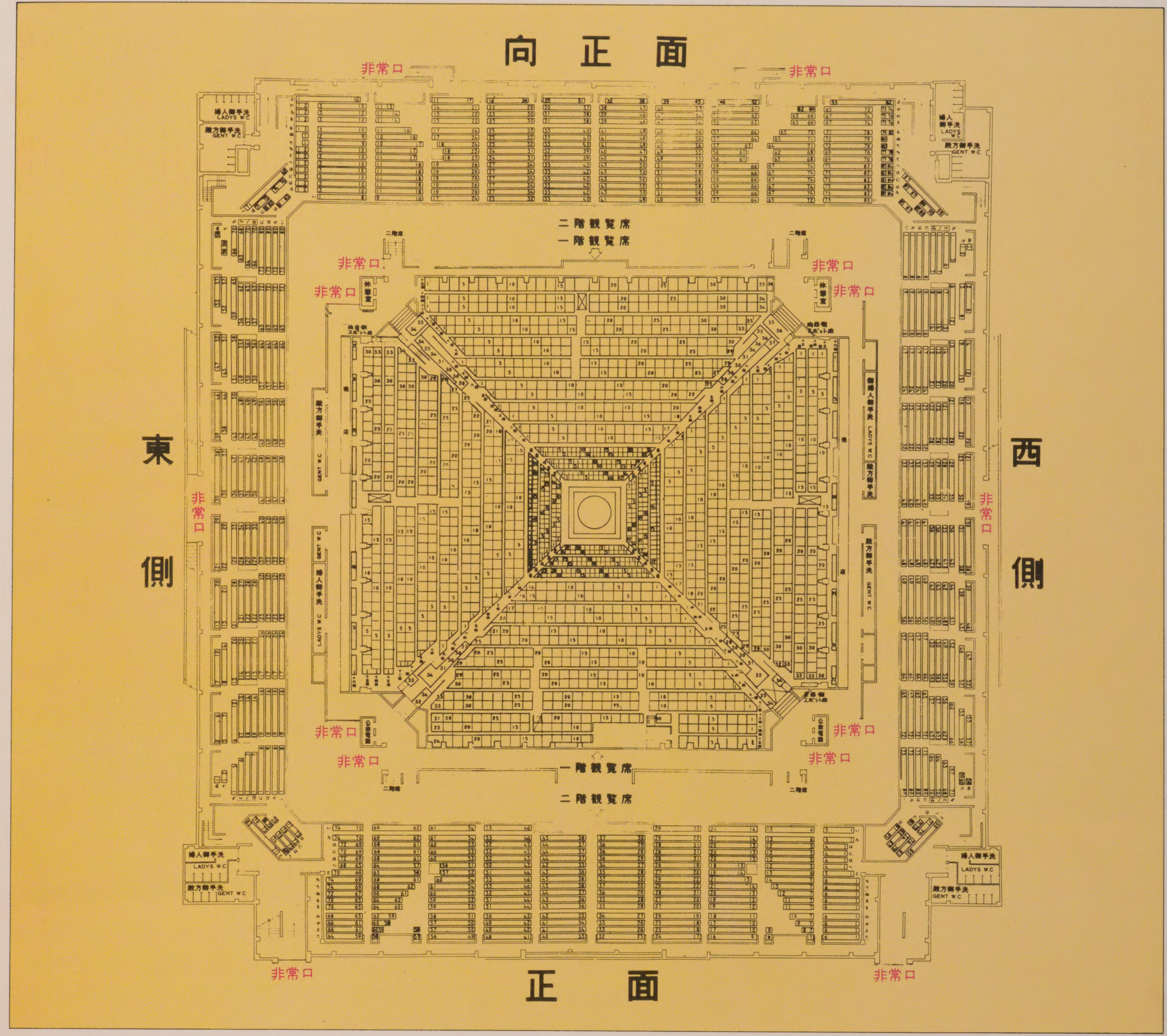
大名とお抱え力士

戦国時代から各国の大名は競って力士を集めた。織田信長、豊臣秀吉、毛利元就、大友義統、長宗我部元親等の武将はいずれも強剛力士を家臣として、高禄をもって召抱えていた。元来相撲は武技の一つに数えられ、弓術、槍、刀、馬術等の得意なものと同じように、相撲の強いことが召抱えの条件となっていた。この風習は慶長、元和（1596～1623）とつゞき、徳川初期に至ってこの力士達は、相撲衆とよばれ士分と同格の待遇を受けますますさかんとなった。

徳川中期の勧進相撲の確立された享保年間(1716～35)になると、本場所に優秀な成績をあげた力士、または将来性のある有望力士を他藩と争って召抱えるようになった。ふつう大名が力士を抱える場合は、江戸の留守居役が藩主の意向をきいてから、日頃交際している相撲の年寄に本人の将来性をたしかめた上召抱えていた。またお抱えの力士が藩替えするときは、相撲好きの藩主が死亡したり、藩の財政上の都合によりお抱えをとく場合が多かった。

藩に抱えられた力士は、２人扶持から５人扶持の待遇をうけ、また土俵入りの際には、その藩の印紋である姫路藩の市松格子、南部の３つ団子二引き、雲州の瓢簞つなぎ、長州の角輪つなぎ、阿波の子持ち二引き、久留米の智恵の輪つなぎ、延岡の菱つなぎ等の化粧廻しをつけて登場した。抱え力士達は番付にも生国を記さず、抱えの藩名を書きこれを誇りとしていた。

◆館内案内図◆



●1月場所販売品目

当日御入場の際、御席での料理、飲食、みやげ物については各案内所で承っておりますので申しつけて下さい。なお、御招待等の場合は、電話での御予約も致しますので御予算の範囲内で御接待申上げます。また、館内には、食堂、売店も御座居ますので御利用下さい。

販売品目取次案内所

	国技館	
11号案内所	↑	10号案内所
12号案内所		9号案内所
13号案内所		8号案内所
14号案内所	通	7号案内所
15号案内所		6号案内所
16号案内所		5号案内所
17号案内所	路	4号案内所
18号案内所		3号案内所
19号案内所		2号案内所
20号案内所	↑	1号案内所

※お忘れ物、遺失物がありましたら、各自の観覧をしていたお席番号を確かめて相撲協会事務所または各案内所へお申し出下さい。

電話 851—2201～5

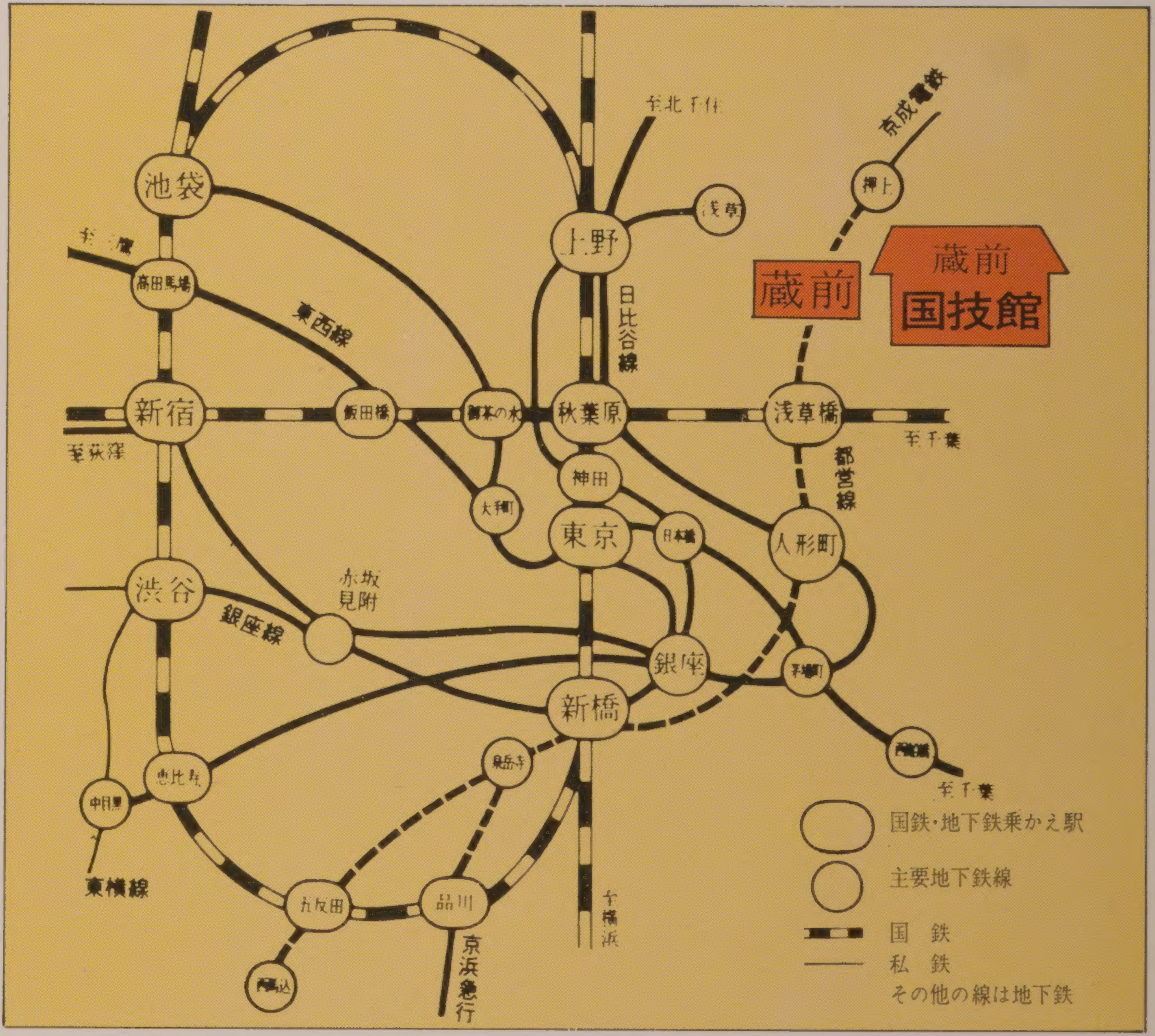
※相撲ご観覧についてお気づきの点がございましたら相撲サービス(株)まで御申し出願います。

電話 851—3281～3

●交通ご案内

●国電(総武線)浅草橋駅下車徒歩…10分

●都営地下鉄1号線蔵前駅下車……2分



発　行　昭和53年1月8日
発行所　東京都台東区蔵前2丁目1番9号
発行所　日本相撲協会
監　修　伊勢ノ海裕丈
印刷所　精工印刷株式会社

＊本誌掲載の記事・写真等の無断転載を禁じます。

定　価 300円

◆おねがい

○交通混雑と自動車による公害の発生を抑制するため、マイカーでの御来場は御遠慮下さい。

○おたばこは火災予防その他危険防止、公衆衛生のため必ず喫煙所又は廊下の灰皿をご利用下さるようお願い申し上げます。

○殿方・ご婦人用お手洗は東西南北と二階四隅にございます。

○非常口は両側にございます。

ことしも一年、キッコーマン
若三杉
キッコーマン
若三杉寿人
キッコーマン
キッコーマン醤油株式会社

野見宿禰像

山崎朝雲作

1978.1.

財団法人 日本相撲協会